

## うるう年のロールコール

JJ1SXA/池

今年は4年ごとに巡り来る閏年、御承知のとおり、2月29日がある年です、今年はたまたま、2月29日は月曜日でした、240のロールコールのある日です、今回キー局は、JA1WOB 斉藤さんの担当でした、うるう年の2月29日が月曜日というのは、全くまれのことなので、過去にロールコールがあったかどうかで話題になりました。

かつて1度だけありました、今回が2回目です、240のロールコールは1981年からずっと続いています、28年前の1988年2月29日が月曜日でした、28年振りのことです、キー局は誰だったのか、記録が見つかりませんし、記憶はどこかへ吹っ飛んでいます。

「うるう年とうるう秒」のことは、TWO-FORTY誌第63号(平成17年12月発行)で、「8時59分60秒」の題名で記事を書きましたが、簡単に言えば、うるう年は4年に1回、月曜日は1週間(7日)に1回ですから、うるう年の2月29日が月曜日になるのは、4年×7で28年に1回というのが正解です。(2月29日生まれの人の誕生日は、戸籍上はあくまでも2月29日だが、2月28日をみなし誕生日とする制度がある)

それにしても、ロールコールを永年続けてきたものだなあと今更ながら感動しました、一時期、キー局の不足で、毎月1回だけにしようとか、隔週に実施することにしようかといった話題も出ましたが、何とか乗り切って、毎週実施が続いています。

例えば、50MHzバンドのどこへダイヤルを回しても何も聞こえない時でも、50.240MHzだけは何時も会話が聞こえていた、モービル局が昼も夜も走り回って電波を出していた良き時代があったのだ、6や8エリアの局が、Eスポの開ける目安にビーコン替わりにワッチしていて、240で会話が聞こえるやEスポが開けたと、それとばかりに周波数を替えてQRVするというのは定番だった。

当時の50MHz愛好のOMさんたちは、CQを出す時は、この周波数を避けてくれたものだ、その位、50.240MHzはモービル周波数として認識されていたのだ。

2エリア、3エリアも同様だったが、今はその面影は残っていない、寂しい限りだ、50.240MHzはモービル周波数だというアピールのために、ロールコールは何とか継続しようという思いは、執念みたいなものだ、もう一つ、TWO-FORTY誌の発刊継続も同様に240の存在を発信するアイテムとしているが、寄稿者が少なく休刊・廃刊の憂き目に晒されつつあるようだ。

栄枯盛衰は世の習いだし、過去の栄光にしがみついているわけではないが、その辺の事情を察していただき、ぜひ原稿を書いていただきたいものだ、何も大上段に構えることは無いと思う、題材はどこにでも転がっている、この原稿も、昨日のロールコールの話題から思い立って書いている、まあ私は元々文章を書くのが苦手だが、書き始めればわけなく1ページくらいは書き上がる、尤も皆さんに読んでいただけるかどうかは疑問だが…

ともあれ、ロールコールとTWO-FORTY誌、それと電波伝播実験は継続しましょう。